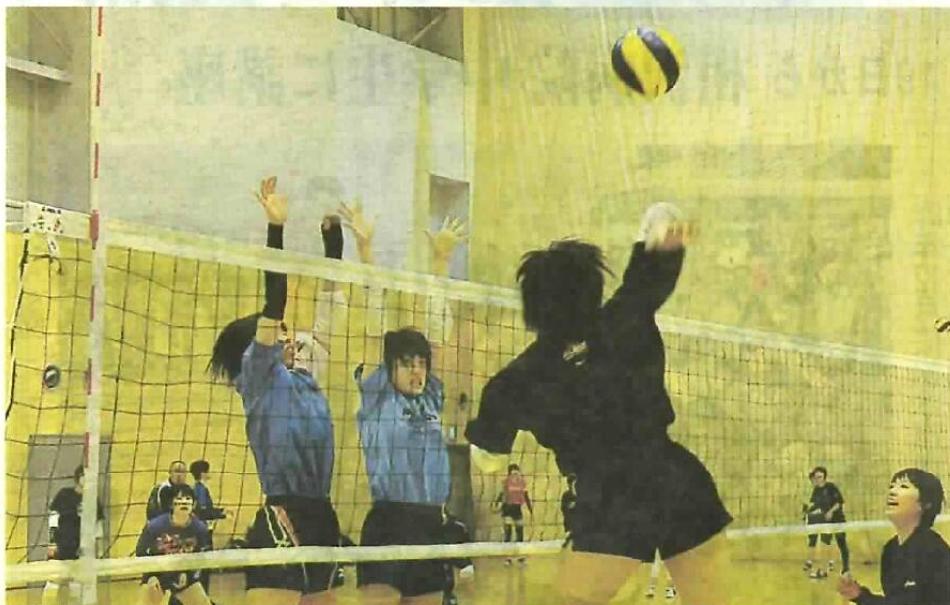


第66回全日本バレーボール高校選手権大会（春高バレー）は11日、東京体育館で男女準決勝2試合を行う。県代表の女子・都市大塩尻が勝ち進んでおり、第1試合の午前10時から、東九州龍谷（大分）と対戦する。県勢女子はこれまで4強が最高で、初の決勝進出に期待が懸かる。

（山浦雄一郎）

# 都市大きょう準決勝



実戦形式の練習で連係を確認する選手たち(10日、川崎市内)

都市大塩尻はこれまで、1回戦から準々決勝までの4試合を戦った。  
春高バレーで何度も優勝経験のある八王子実践（東京）を2回戦で下し、3回戦では昨年夏の国体で敗れた大和南（神奈川）を倒すなど、格上相手に力を発揮して勝ち進んできた。都市大塩尻は、61～64回大会を4連覇した強豪だ。持ち味の高さと速さを兼ね備えた攻撃で、今大会も順調に勝ち進んできた。都市大塩尻は、春高バレーで何度も優勝進んできた。

春高バレー  
全国大会

**強豪・東九州龍谷と対戦**

実戦形式の練習で連係を確認するなどはサーブで崩し、アタッカーにしつかりと2枚ブロックを付け、そこから持ち前のコンビバレーで圧倒する展開を狙う。岡田隆安監督は「横綱相手にチャレンジジャーの気持ちで戦う。攻め所はある」と自信をのぞかせる。都市大塩尻は10日、川崎市内の体育館で約2時間練習し、実戦形式で攻撃の連係を確認するなどをした。エースポジションのレフト宮嶋望帆（3年）は「出足でリズムを作りたい。氣負わずに全員で目の前の敵を倒したい」と意気込んでいた。